

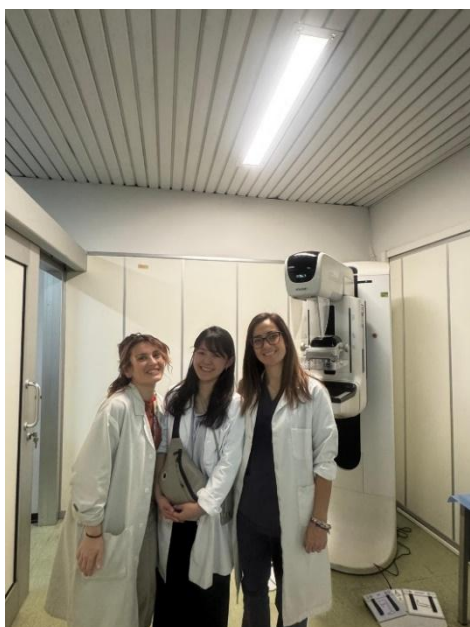
弘前大学基金による本事業では、実際の診療現場に立ち会い、カターニャ大学病院における画像診断・読影の手法・カテーテル治療を直接学ぶことができました。

特に MRI や CT の読影を英語でコミュニケーションをとりながら行えたことは大変有意義でした。スタッフの先生方は非常に教育熱心で、英語での丁寧な説明や質疑応答の機会も多く、質問にも親身に対応してくださいました。レジデントの教育カリキュラムも整備されており、学ぶ意欲をさらに高めてくれる環境でした。

臨床に加えて研究活動も活発で、レジデントの研究状況についても学ぶことができました。放射線科の分野におけるヨーロッパの研究潮流を肌で感じることができ、自身の今後の研究活動へのモチベーション向上につながりました。

研修中はスタッフやレジデントが温かく迎えてくださり、言語や文化の違いを超えた交流ができました。シチリアの歴史ある街並みや食文化にも触れ、医療以外の面でも視野を広げることができました。

今回、このような事業に参加することができ、ご支援いただきました皆様方に感謝申し上げます。



カターニャ大学病院での研修の様子